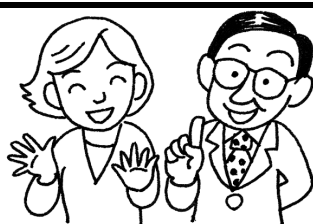


おうちの方へ

小 / 算数 / 1年 / 量と測定 /
おうちの方へ / 理解シート

時計の「分読み」ができないのですが、どのようにすれば、効果的にわからせることができるでしょうか



時計の数字と時間（分）のメモリの対応を認識させましょう。

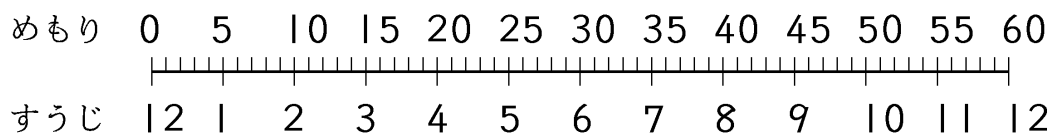
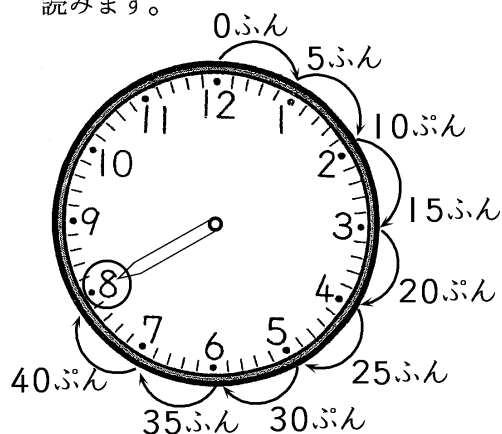


「分読み」のときは、時計の数字を、5とびの数に置きかえて読みます。

時計の時間の読み方は、お子様にとって大変難しい課題です。それは、文字盤の数字を○時と○分で読み分ける必要があるからです。

○時のときには、短針を手がかりに時計の数字をそのまま読みます。

しかし、「分読み」では、下の時計や数直線のように、5とびの数に対応させて数字を読みます。



家庭用の時計の一部には、1分ごとのメモリが無いものもありますが、学習用の時計には、必ず、1分ごとのメモリが入っています。

数直線のメモリの数や、学習用などの時計のメモリの数を数えさせるのもよいでしょう。

時計の学習の初期の段階では、1→5、2→10、3→15、4→20、……といった対応する数を時計の数字の横にはっておくと、読み方がよく身につきます。